



令和8年9月24日

各報道機関 御中

AR・VR で「いつもの避難経路が使えない」を疑似体験

古城小 6 年生が自ら考え、判断して避難する力を学ぶ

このたび、宮崎大学教育学部では、公立鳥取環境大学の堀磨伊也氏（教員）、寺田桐子さん（学生）らと連携し、宮崎市立古城小学校の 6 年生を対象に、AR・VR を活用した避難学習を実施します。

通常の避難訓練では、あらかじめ設定された避難経路に沿って避難することが中心となります。しかし、実際の災害時には、火災や建物の損壊等により、いつもの避難経路を使用できない場合も想定されます。そこで、本取組では、AR・VR を活用してこうした状況を疑似的に体験し、児童が周囲の状況を確認しながら、**安全な避難方法を自ら考え、判断する力を養うこと**を目指します。

当日は、Meta Quest 等を用い、**教室内に潜む危険を考える災害 AR** や、地震や火災などさまざまな災害を想定した **VR 避難訓練シミュレーション** を体験します。体験後は、「どこに危険があったか」「いつもの避難経路が使えない場合、どのように避難すればよいか」などを振り返り、児童同士で意見を交流します。こうした活動を通して、一つの避難経路にとらわれず、その場の状況に応じて安全な行動を判断することの重要性を学びます。本取組では、学校教職員と大学教員・学生が連携し、デジタル技術を活用しながら、災害時に児童が「決められた経路を通る」だけでなく、**状況に応じて自ら安全な行動を選択できる力を育むこと**を目指しています。

つきましては、本取組の趣旨をご理解いただき、ぜひ取材をご検討くださいますようお願い申し上げます。



震災時の教室を再現した 360 度パノラマ画像



Meta Quest を装着して VR 教材を体験する様子



日 時：令和8年 9 月 28 日（月）10:20～11:05

会 場：宮崎市立古城小学校

関係機関：古城小学校、宮崎大学、公立鳥取環境大学、東北工業大学

① 取り組みに関する問い合わせ先：

- 宮崎市立古城小学校 担当：藤岡
TEL:0985-51-4416
- 宮崎大学教育学部 担当：山口
TEL:0985-58-7497
e-mail : n-yamaguchi@miyazaki-u.ac.jp

② 発信元：

企画総務部総務広報課広報係
TEL:0985-58-7114
e-mail : kouhou@miyazaki-u.ac.jp